

衆院議長の要請を無視して、小泉首相は靖国神社への参拝を強行し、政府高官は

「戦死者を祀る靖国神社へ、首相が参拝するのは当たり前ではないか。

外国が反対するのは内政干渉である。」などと云って外交問題になっています。

首相の参拝に大阪高裁は違憲判決をだしました、憲法に思想・良心の自由が保障されているのに、靖国神社へ参拝してどうしていけないのか理解できない。と首相はいいます。

これをどう考えたら良いのでしょうか。私たちはこの問題で11月15日にシンポジウムをひらきましたが、時間が足りず、もっとききたい部分が残りました。それでもう一度挑戦することにしました。思いの丈を十分だしあって、正しい歴史認識をもちたいと思います。歴史認識をあやまると日本はアジアの孤児になりかねません。

国の進路を誤らないために、みんなで知恵をだしあって考えてみましょう。

あなたも ぜひ参加して、ご自由にご意見をお聞かせください。 入場無料

と き 05年12月13日(火)午後6時45分お

と ころ 市役所 大杜町別館 (防災センター) 1F

演 題 **靖国問題と憲法** を考える

問題提起 中国・韓国はなぜ反対するのか (講師 交渉中)

参加者の フリー・トーク

資 料 代 200円

共催 みしま中部憲法9条を守る会 ・ 三島市民講座

連絡先 973-1189 (栗原) ・ 971-3348 (山口)

会の結成  
呼びかけ人 (世話人)



菊川恒明 神山節子 小西静子 酒井喜代子 坂野昭男  
柴田幸士 土屋慶史 中野正義 中山伝次 福尾正夫